

# 令和7年度 政務活動報告書（1）

会派又は議員名 緑風会

政務活動期間	令和7年9月4日～9月6日（3日間）
政務活動先	茨城県大子町、茨城県境町
政務活動参加者	秋場 信一、高谷 茂、島田 裕司（3名）
政務活動項目	<p>○新庁舎建設に係る事項について</p> <p>○先進的な子育て支援、移住、定住の取り組みについて</p>
政務活動項目に係る（目的・結果等の概要・所見）	<p>1 大子町（高梨 哲彦 町長、大森 勝夫 議長）</p> <p>○新庁舎建設について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の敷地と合わせて5回の基本設計、2回の実設計と足かけ4年を要したプロジェクトであった。再三に亘り変更に至った要因や町民への対応などについて伺う。</li> <li>・規模と立地の経緯については、合意形成のあり方や住民の声をどのように反映したのか伺うことができた。</li> <li>・大子町の人口は約14,200人、6,923世帯と本町とは人口面では同規模の町であり、本町の庁舎建設の検討に参考となることが多くあった。</li> </ul> <p>2 境町（橋本 正裕 町長、倉持 功 議長）</p> <p>○先進的な子育て支援、移住、定住の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・境町は、移住定住を希望する子育て世帯向けに賃貸マンションや戸建を整備。また、すべての小・中学校で実施する先進的な英語教育など手厚いサポートが充実していた。</li> <li>・PFI住宅事業による、25年間賃貸マンションに住み続けるだけで家と土地がもらえるユニークな発想の事業には感心する点が多くあった。</li> <li>・公共交通機関の整備として、自動運転バスの「ARMA」5台を導入し、定常運行している。本町も自動運転バスの実証運行も3年目を迎えており、参考となった。</li> </ul>

【大子町議会】

